

佐賀県研究成果情報（作成 2021年3月）

[情報名] カンショ「からゆたか」は8月上旬収穫の早掘り栽培に適する

[要約] カンショ「からゆたか」は、4月下旬植付け、8月上旬収穫の早掘り栽培において、収量が「べにまさり」および「べにはるか」と比較して同等以上の収量である。

[キーワード] カンショ、「からゆたか」、早掘り

[担当] 上場営農センター・研究部・畑作・野菜研究担当

[連絡先] 0955-82-1930・uwabaeinousenta@pref.saga.lg.jp

[分類] 普及

[部会名] 上場営農専門部会

[専門] 栽培

[背景・ねらい]

上場地域に適しているカンショ「からゆたか」が平成26年に品種登録された。「からゆたか」は生産者や実需者へのアンケート結果から収量、品質、食味において「べにまさり」より高い評価を得ている。そこで、「からゆたか」の周年出荷体制を確立するため早掘り栽培における適応性について明らかにする。

[成果の内容]

1. 「からゆたか」は8月上旬収穫の早掘り栽培において上イモ重および上イモ1個重は平均246 kg/a および144 g/個であり、「べにまさり」および「べにはるか」と比較して同等以上である（表1）。
2. 階級別重量のL、M規格の割合が平均51%で「べにまさり」の47%と同等で「べにはるか」の29%と比較して優れている（表2）。
3. 「からゆたか」は「べにまさり」と比較してデンプン歩留およびBrix値は同等以上である（表3）。
4. 早掘り栽培の「からゆたか」は慣行栽培と比較してデンプン歩留およびBrix値は同等以上である（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 種イモの伏込み時は、ハウスサイドの開閉温度を32℃に設定した。
2. 「からゆたか」の萌芽は、「べにまさり」および「べにはるか」より一週間程度遅れるため、計画的に伏込みを行う。
3. 本成果は、周年出荷体制のうち早期出荷に対応したものである。

[具体的なデータ]

表1 品種の違いによる収量性

品種名	2017年				2018年				平均	
	つる重 (kg/a)	上イモ重 (kg/a)	上イモ個数 (個/株)	上イモ1個重 (g/個)	つる重 (kg/a)	上イモ重 (kg/a)	上イモ個数 (個/株)	上イモ1個重 (g/個)	上イモ重 (kg/a)	上イモ1個重 (g/個)
からゆたか	219 b	255	4.3	126 ab	187	237 a	3.2	161 a	246	144
べにまさり	337 a	244	5.0	103 b	211	162 b	3.1	111 b	203	107
べにはるか	264 ab	260	4.1	135 a	177	199 ab	3.4	126 ab	230	131
有意性	*	n.s.	n.s.	*	n.s.	*	n.s.	*		

注1) 伏込み日：2017年2月17日、2018年2月15日
 注2) 植付け日：2017年4月25日、2018年4月25日
 注3) 畦間0.85 m、株間0.25 mの黒マルチ栽培
 注4) 調査数：10株の3反復
 注5) 収穫日：2017年8月2日、2018年8月3日
 注6) 上イモは1個あたり50 g以上
 注7) 異符号間にはTukey法により5%水準で有意差あり

表2 品種の違いによる上イモの階級別重量割合

試験年	品種名	上イモの階級別重量割合(%)					L,M規格 合計割合 (%)	上イモの 合計個数 (個)
		2L 400~600g 未満	L 250~ 400g未満	M 150~ 250g未満	S 100~ 150g未満	2S 50~ 100g未満		
2017年	からゆたか	0	9	38	28	24	47	130
	べにまさり	0	18	36	27	20	54	123
	べにはるか	0	2	26	37	36	28	151
2018年	からゆたか	14	11	43	16	16	54	96
	べにまさり	0	17	23	36	25	40	101
	べにはるか	0	9	23	34	34	32	94
平均	からゆたか	7	10	41	22	20	51	113
	べにまさり	0	17	30	31	22	47	112
	べにはるか	0	4	25	36	35	29	123

注1) 構成比率は小数第一位を四捨五入しているため、合計が100とはならない

表3 品種および栽培方法の違いによるデンプン歩留およびBrix値

品種名	デンプン歩留 (%)	Brix値(%)
からゆたか 注1)	20.2 b	24.5±1.6 b
べにまさり 注1)	19.8 b	19.9±0.9 b
べにはるか 注1)	23.7 a	29.1±1.6 a
からゆたか(慣行栽培)	19.3 b	24.2±3.8 b
有意性	*	*

注1) 表1、2017年参照
 注2) 調査日：早掘り栽培 8月28日、慣行栽培 10月26日
 注3) Brix値は焼いもの中心部を測定した
 注4) からゆたか(慣行栽培) 植付け日：2017年5月26日、収穫日：2017年10月5日
 注5) ±は標準偏差値
 注6) 異符号間にはTukey法により5%水準で有意差あり

[その他]

研究課題名：カンショ新品種「からゆたか」のブランド化に向けた周年出荷技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2017～2018年度

研究担当者：平野優徳、浦田貴子、伊東寛史、原田克哉、中島正明

発表論文等：園芸学会九州支部(2020年)